



# 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会・関連する学会における「ダイバーシティ・男女共同参画」に関するアンケート調査

## -平成26年度から令和6年度まで過去6回の比較検討-

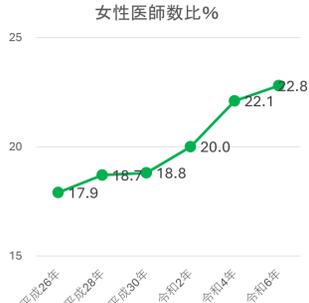
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 総務部 ダイバーシティ・働き方改革委員会

- 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総務部 ダイバーシティ・働き方改革委員会(前:男女共同参画委員会)において同学会と関連する学会の事務局に「ダイバーシティ・男女共同参画」に関するアンケート調査を平成26年度より令和4年度までの間に計5回おこなってきた。
- 今回令和6年度に第6回目の調査をおこなった。該当する学会は16学会であり、回答率は100%であった。
- 平成26年度、28年度、30年度、令和2年度、令和4年度および令和6年度における調査についてその結果を比較検討したので報告する。

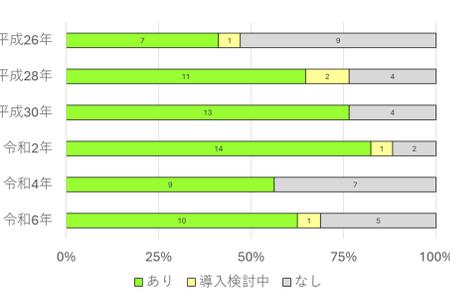
### 調査結果 (表内の黄色枠は平均以上を示す)

#### ◆ 各学会の医師会員数, 女性医師比率の推移

学会名	平成26年度		平成28年度		平成30年度		令和2年度		令和4年度		令和6年度		
	総数	女性医師比率(%)											
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 <sup>1)</sup>	10,743	2,367	22,100	2,487	22,100	2,554	23,113	2,631	23,816	2,747	21,210	2,829	252
日本気管支学会	1,894	355	2,161	422	2,161	422	2,161	422	2,161	422	2,161	422	261
日本めまい平衡医学会	1,470	80	1,690	343	2,031	370	2,031	370	2,031	370	2,031	370	231
日本耳鼻咽喉科専門医会	2,602	577	2,940	582	2,940	582	2,940	582	2,940	582	2,940	582	229
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	1,992	324	1,992	324	1,992	324	1,992	324	1,992	324	1,992	324	207
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	3,132	347	3,132	347	3,132	347	3,132	347	3,132	347	3,132	347	324
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	3,027	371	3,027	371	3,027	371	3,027	371	3,027	371	3,027	371	183
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	522	106	522	106	522	106	522	106	522	106	522	106	123
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	468	55	468	55	468	55	468	55	468	55	468	55	133
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	623	119	623	119	623	119	623	119	623	119	623	119	207
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	1,135	305	1,135	305	1,135	305	1,135	305	1,135	305	1,135	305	277
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	3,534	800	3,534	800	3,534	800	3,534	800	3,534	800	3,534	800	309
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	732	94	732	94	732	94	732	94	732	94	732	94	109
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	1,307	229	1,307	229	1,307	229	1,307	229	1,307	229	1,307	229	182
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	805	109	805	109	805	109	805	109	805	109	805	109	159
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	1,801	227	1,801	227	1,801	227	1,801	227	1,801	227	1,801	227	197
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	856	148	856	148	856	148	856	148	856	148	856	148	470
合計	37,944	8,444	42,944	8,800	42,944	8,800	42,944	8,800	42,944	8,800	42,944	8,800	2,828



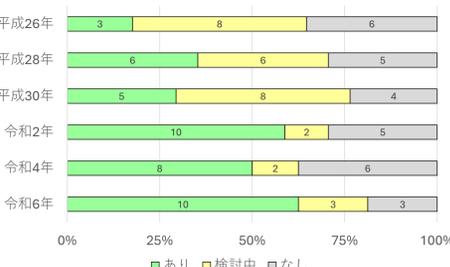
#### ◆ 各学会総会・学術集会における託児所設置



- 学会総会・学術集会における託児所設置率は、平成26年41.2%、令和4年は56.3%であり、今回は**62.5%**であった。
- 令和4年度の調査の際には、**新型コロナウイルス感染症拡大に伴うウェブ学会併用**など、社会的背景の影響が考えられた。
- 令和6年は前回に比較し微増していた。

- 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会の女性比率**は、耳鼻咽喉科頭頸部外科医の女性比率を直接反映するもので、令和6年は**25.2%**である。
- 16学会における女性学会員の平均比率は、平成26年は17.9%、平成28年は18.7%、平成30年18.8%、令和2年20.0%、令和4年22.1%、**令和6年22.8%**と**増加傾向**を示していた。
- 日本の耳鼻咽喉科頭頸部外科医師における女性比率に達していないものの、過去6回の調査のうち過去最高値であることが確認された。

#### ◆ 学会内における女性医師支援や男女共同参画推進に関するアクションプランの有無



- 16学会中アクションプラン「あり」との回答は平成26年17.6%、令和4年は50.0%であり、令和6年に**62.5%**と**増加傾向**であり、「なし」、「検討中」が18.8%であった。
- 基盤整備は進みつつあるが、さらに充実することが望まれる。

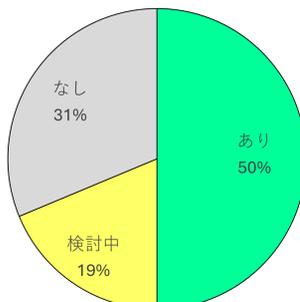
#### ◆ 各学会における役員数と女性比率

学会名	平成26年度		平成28年度		平成30年度		令和2年度		令和4年度		令和6年度							
	役員数	女性役員比率(%)	役員数	女性役員比率(%)	役員数	女性役員比率(%)	役員数	女性役員比率(%)	役員数	女性役員比率(%)	役員数	女性役員比率(%)						
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 <sup>1)</sup>	288	10	35	292	13	37	296	10	34	315	10	48	319	10	322	21	65	
日本気管支学会	47	6	104	49	104	59	104	59	104	59	104	59	104	59	104	46	104	
日本めまい平衡医学会	77	5	85	6	85	6	85	6	85	6	85	6	85	6	85	6	85	
日本耳鼻咽喉科専門医会	84	6	71	84	6	71	84	6	71	84	6	71	84	6	71	84	6	71
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	74	2	77	2	77	2	77	2	77	2	77	2	77	2	77	2	77	2
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	183	3	183	7	183	7	183	7	183	7	183	7	183	7	183	7	183	7
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	142	0	126	0	184	1	184	1	184	1	184	1	184	1	184	1	184	1
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	51	2	57	3	57	3	57	3	57	3	57	3	57	3	57	3	57	3
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	62	0	78	2	78	2	78	2	78	2	78	2	78	2	78	2	78	2
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	132	8	139	7	124	7	124	7	124	7	124	7	124	7	124	7	124	7
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	63	15	224	91	17	187	85	16	188	85	19	200	105	210	99	192	99	192
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	65	1	64	1	64	1	64	1	64	1	64	1	64	1	64	1	64	1
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	79	2	81	2	81	2	81	2	81	2	81	2	81	2	81	2	81	2
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	95	3	84	1	111	8	111	8	111	8	111	8	111	8	111	8	111	8
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	105	4	105	3	105	3	105	3	105	3	105	3	105	3	105	3	105	3
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	109	2	104	1	104	1	104	1	104	1	104	1	104	1	104	1	104	1
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	120	3	137	4	140	5	140	5	140	5	140	5	140	5	140	5	140	5
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	1776	72	41	1785	79	44	1845	71	38	2007	101	50	1976	145	72	1957	162	83



#### <令和6年度新規質問事項> 以下今回の調査で追加した質問事項への結果を示す。

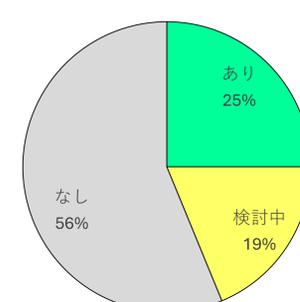
#### ◆ ダイバーシティに関する工夫



- 回答例一部抜粋—
- ダイバーシティ委員会の設置
- 入会時、性別の選択肢に「登録しない」を用意
- 学術講演会におけるダイバーシティ推進シンポジウム・セミナー・セッションの企画
- 学会総会・学術講演会における女性座長の数を増やす
- 若手女性医師対象のアンケートや座談会を実施
- 評議員に活躍している女性医師を推薦し、女性医師のモチベーション向上を図る
- 「輝く耳鼻咽喉科頭頸部外科女性賞」「子育て支援賞」の表彰
- 多彩なキャリアの医師の講演の企画
- 各学会や医局の男女共同参画の取りくみを確認・公表等

- 16学会中**50%**で有り、18.8%で検討中、31.3%で無しの結果を得た。

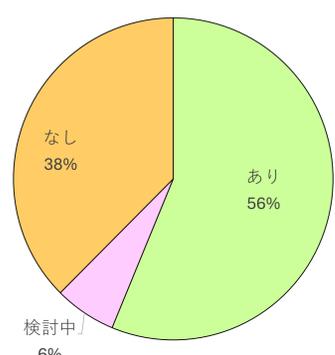
#### ◆ 働き方改革に関する工夫



- 回答例一部抜粋—
- 働き方に関するアンケート調査の実施
- 休日および夜間の会議開催を回避
- 学会で働き方改革についての企画をおこない会報誌などにも掲載している
- 委員会に若手医師を加え、より新鮮な意見を聞くことができるようになった
- 委員会の活動をしやすい(働きやすい)環境の整備
- 座談会、セミナーの企画、成果物の配布をおこなっている、等

- 16学会中**25.0%**で有り、18.8%で検討中、56.3%で無しの結果を得た。

#### ◆ 学会専門資格について



学会名	専門資格名称	総人数	女性人数	女性(%)
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会	耳鼻咽喉科専門医	8,856	2,161	24.4
	補聴器相談医	5,285	1,352	25.6
日本めまい平衡医学会	めまい相談医	870	213	24.5
日本耳鼻咽喉科専門医会	耳科手術指導医	199	10	5.0
	耳管ピン手術実施医	61	6	9.8
	耳科学会認定医	338	44	13.0
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	鼻科手術指導医(暫定指導医)	132	3	2.3
日本気管支学会	日本気管支学会認定気管支道科専門医	1,079	115	10.7
日本音声言語医学会	音声言語認定医/音声言語認定士(ST含む)	194	68	35.1
日本顔面神経学会	日本顔面神経学会認定顔面神経麻痺相談医	95	10	10.5
日本頭頸部外科学会	頭頸部がん専門医	536	27	5.0
日本嚥下医学会	嚥下相談医制度	305	42	13.8
計		17,950	4,051	22.6

- 各学会の専門資格の有無について、また有りの場合の専門資格の名称と資格取得者の人数およびその中の女性の人数を問うたところ、**9学会(56%)**より専門資格ありとの回答を得た。
- 資格取得医師の**延べ人数は17,950名**であり、このうちの**女性は4,051名(22.6%)**であることが確認された。

#### 【指定演者】

学会	平成26年度		平成28年度		平成30年度		令和2年度		令和4年度		令和6年度							
	総数	女性指定者比率(%)	総数	女性指定者比率(%)	総数	女性指定者比率(%)	総数	女性指定者比率(%)	総数	女性指定者比率(%)	総数	女性指定者比率(%)						
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 <sup>1)</sup>	29	3	33	12	36	33	6	102	29	119	58	307	47	7	104			
日本気管支学会	3	0	0	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0		
日本めまい平衡医学会	29	2	69	40	3	75	8	1	125	22	3	136	19	3	159	13	1	
日本耳鼻咽喉科専門医会	44	2	45	52	1	59	26	1	39	57	8	105	17	0	0	37	10	270
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	26	5	15	43	5	116	22	2	91	73	10	137	46	12	281	36	10	278
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	114	7	61	29	2	69	111	6	72	54	12	222	33	3	91	3	91	
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	56	3	52	25	3	89	29	2	51	47	1	21	61	11	119	58	3	52
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	23	10	42	10	1	100	6	0	15	2	102	5	2	40	2	25	0	25
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	15	4	37	23	3	50	32	3	94	22	1	45	48	1	42	19	3	55
日本耳鼻咽喉科専門医会(C)	17	1	59	3	0													